

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	経営理念は唱和し共有に務めているものの、事業所としての理念がまだできていない	理念を構築し、理念に基づいたサービスを行う。	法人内でのグループホームの理念があったため、意識の統一を図る面からも、ケア会議での話し合いを行い、同じ理念で統一を図った。	1ヶ月
2	4	運営推進会議を定期的開催する	テーマを決め、定期的に運営推進会議を開催し、たくさんの意見を頂戴しサービスの質の向上に努める。	3月11日運営推進会議を開催し、年間の概略開催テーマについての提案を行った。 今後もテーマに沿って定期的開催していく。	1ヶ月
3	10	外部からのご意見を頂戴する機会をもつ 事業所以外の意見を言う場があることを明記する	外部の方から意見をご意見をたくさん頂、サービスの質の向上・開かれたホームを目指す。	玄関に、意見箱とカードの設置を行った。 重要事項説明書に、事業所以外の意見・苦情の窓口を明記した。	1ヶ月
4	33	重要事項説明書・契約書への重症化や終末期に向けての方針を記載する	重症化や終末期に向けての方針を確立し、重要事項説明書等に記載する。	ケア会議・運営推進会議等でご意見を頂戴し、参考にしながら、方針を確立していく。	4ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。